

2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2022年7月29日

上場会社名 株式会社ZOZO 上場取引所 東
 コード番号 3092 URL https://corp.zozo.com
 代表者(役職名) 代表取締役社長兼CEO(氏名) 澤田 宏太郎
 問合せ先責任者(役職名) 取締役副社長兼CFO(氏名) 柳澤 孝旨 (TEL) 043(213)5171
 四半期報告書提出予定日 2022年8月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)
 (百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	42,590	9.6	14,312	13.7	14,296	14.1	9,960	14.1
2022年3月期第1四半期	38,866	15.4	12,591	20.8	12,534	19.7	8,731	19.3

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 10,048百万円(14.3%) 2022年3月期第1四半期 8,790百万円(19.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	33.23	—
2022年3月期第1四半期	28.91	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	119,810	54,391	45.3
2022年3月期	127,276	55,099	43.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 54,240百万円 2022年3月期 54,932百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	22.00	—	36.00	58.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	24.00	—	36.00	60.00

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	181,300	9.1	51,500	3.7	51,500	3.7	35,900	4.1	119.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期1Q	311,644,285株	2022年3月期	311,644,285株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	11,847,304株	2022年3月期	11,840,467株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期1Q	299,801,526株	2022年3月期1Q	302,021,058株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料7ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、2022年7月29日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	7
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(会計方針の変更)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当期の経営成績

[表1] 前年同期比

(単位:百万円)

	前第1四半期連結会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	前年同期比
商品取扱高	116,812 (109.5%)	127,928 (110.3%)	9.5%
商品取扱高(その他商品取扱高除く)	106,700 (100.0%)	115,948 (100.0%)	8.7%
売上高	38,866 (36.4%)	42,590 (36.7%)	9.6%
売上総利益	36,924 (34.6%)	40,341 (34.8%)	9.3%
営業利益	12,591 (11.8%)	14,312 (12.3%)	13.7%
経常利益	12,534 (11.7%)	14,296 (12.3%)	14.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,731 (8.2%)	9,960 (8.6%)	14.1%

()内は商品取扱高(その他商品取扱高除く)に対する割合です。

当社グループは、「世界中をカッコよく、世界中に笑顔を。」という企業理念のもと、日本最大級のファッションECサイト「ZOZOTOWN」、及びファッションメディア「WEAR」の運営を中心に事業活動を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染拡大の落ち着きに伴う外出機会の増加ならびに洋服に対する需要の増加により、アパレル業界(特にオフライン)が活気づいた市況となりました。この状況下で当社グループは、ZOZOTOWNにおいてはユニークユーザー数拡大及びコンバージョンレート(ユニークユーザーの購買率)向上を目指し、ユーザーとブランド双方にとって魅力的なサイト作りに一層注力してまいりました。具体的には、2022年5月にセールイベント「ZOZOWEEK」の実施(2022年5月14日~23日の10日間)ならびに夏の本セール開始期間にはTVCMを放送し集客を強化する等、ZOZOTOWNにおける販売力の最大化に取り組みました。加えて、引き続き多様化するユーザーニーズに対応できるよう積極的に幅広いジャンルの新規ブランドの出店も進めてまいりました。

また、カテゴリー強化の取り組みとしては、コスメカテゴリー強化を図る「ZOZOCOSME」に注力しております。ZOZOCOSMEは2022年6月時点において国内外の600以上のコスメブランドを取り扱っておりますが、商品取扱高拡大のために新規ブランド出店を積極的に継続してまいります。また、高精度で肌の色を計測できるツール「ZOZOGLOSS」を用いて、計測した肌の色に最も近いファンデーションならびにコンシーラーの色を提案する購入アシスト機能を実装しており、ユーザーに新しい購入体験を提供しております。

PayPayモールについては、前連結会計年度までに獲得した顧客の定着や、モールを運営するヤフー(株)による積極的な販促費用投下が続ぎ、順調に売上を伸ばしております。

BtoB事業については、前第4四半期連結会計期間に商品取扱高の多くを占めるブランドの支援撤退があったものの、支援を継続しているブランド各社においては自社ECサイト活用の積極化が続いている状況です。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における商品取扱高は127,928百万円(前年同期比9.5%増)、その他商品取扱高を除いた商品取扱高は115,948百万円(同8.7%増)となりました。売上高は42,590百万円(同9.6%増)、売上総利益は40,341百万円(同9.3%増)となりました。売上総利益の商品取扱高(その他商品取扱高除く)に対する割合(粗利率)は34.8%となり、前年同期と比較して0.2ポイント上昇いたしました。

売上高については、商品取扱高に対する売上高比率が高い買取・製造販売とUSED販売、広告事業の成長ならびに商品取扱高に対する売上高比率が低いBtoB事業の商品取扱高における構成比が減少した事が主な要因となり、前年同期比で商品取扱高(その他商品取扱高除く)の成長率を上回る伸び率となりました。

粗利率上昇の主な要因は、売上高について記載の通り、買取・製造販売とUSED販売、広告事業の成長ならびに粗利率の低いBtoB事業の商品取扱高が商品取扱高(その他商品取扱高除く)における構成比が減少した事になります。

販売費及び一般管理費は26,028百万円(前年同期比7.0%増)、商品取扱高(その他商品取扱高除く)に対する割合は22.4%と前年同期と比較して0.4ポイント低下しております。前年同期比で販管費率が低下している主な理由は以下のとおりです。なお、以下の対商品取扱高比は、各販管費項目を商品取扱高(その他商品取扱高除く)で除し

た結果となります。

・上昇(悪化)要因

物流拠点拡張に伴うスポット費用の計上ならびにクラウドサーバ利用量増加に伴う通信費の増加等によってその他(対商品取扱高)が0.4ポイント上昇。

・低下(改善)要因

- ① 物流拠点内の作業効率向上等により、人件費のうち物流関連費(対商品取扱高)が0.3ポイント低下。
- ② 出荷単価が前期実績を上回った事により、荷造運賃(対商品取扱高)が0.2ポイント低下。
- ③ 夏の本セール開始日が昨年度と比較すると遅いタイミングとなったことにより集客費用の一部が第2四半期連結会計期間に計上される事によって広告宣伝費(対商品取扱高)が0.2ポイント低下。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益は14,312百万円(前年同期比13.7%増)、営業利益率は対商品取扱高(その他商品取扱高除く)比12.3%と前年同期と比較して0.5ポイント上昇しております。また、経常利益は14,296百万円(同14.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は9,960百万円(同14.1%増)となりました。

なお、当社グループはEC事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しておりますが、単一セグメント内の各事業区分の業績を以下のとおり示しております。

各事業別の業績は、以下のとおりです。

[表2] 事業別前年同期比

事業別	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)			当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)			取扱高 前年同期比 (%)	売上高 前年同期比 (%)
	取扱高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	取扱高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)		
ZOZOTOWN事業	90,648	77.6	28,812	101,043	79.0	32,001	11.5	11.1
(買取・製造販売)	720	0.6	716	972	0.8	938	34.9	31.1
(受託販売)	87,346	74.8	25,549	96,807	75.6	27,818	10.8	8.9
(USED販売)	2,581	2.2	2,546	3,263	2.6	3,244	26.4	27.4
PayPayモール	9,805	8.4	2,872	11,227	8.7	3,283	14.5	14.3
BtoB事業	6,246	5.3	1,190	3,677	2.9	620	△41.1	△47.9
広告事業	—	—	1,382	—	—	1,751	—	26.7
その他除く 小計	106,700	91.3	34,258	115,948	90.6	37,657	8.7	9.9
その他	10,111	8.7	4,608	11,979	9.4	4,933	18.5	7.1
合計	116,812	100.0	38,866	127,928	100.0	42,590	9.5	9.6

① ZOZOTOWN事業

ZOZOTOWN事業は、「買取・製造販売」「受託販売」「USED販売」の3つの事業形態で構成されております。「買取・製造販売」は当社グループが仕入れを行い、在庫リスクを負担し販売を行う事業形態になります。各ブランドからファッション商材を仕入れる形態と、MS(マルチサイズ)等、当社グループが商材を発注する形態がこちらに該当します。「受託販売」は各ブランドの商品を受託在庫として預かり、受託販売を行っております。「USED販売」は主に個人ユーザー等から中古ファッション商材を買取り、販売を行っております。新品商品購入促進のための付加価値サービスと位置付けております。

当社では、ZOZOTOWN事業を持続的に成長させていくためには「購入者数の拡大」及び「ファッション消費におけるZOZOTOWN利用率上昇」が重要なファクターであると認識しております。そのために、ユーザーとブランド双方にとって魅力的なサイト作りに取り組んでおります。

なお、ZOZOTOWN事業に係る主なKPIの推移は以下のとおりです。

(ショップ数等)

[表3] ショップ数、ブランド数の推移

	前連結会計年度				当連結会計年度			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
ZOZOTOWN出店ショップ数(注)1	1,488	1,502	1,516	1,510	1,523	—	—	—
内) 買取・製造販売(注)2	20	24	24	24	25	—	—	—
受託販売	1,468	1,478	1,492	1,486	1,498	—	—	—
ブランド数(注)1、2	8,490	8,451	8,481	8,433	8,512	—	—	—

(注) 1 四半期会計期間末日時点の数値を使用しております。

2 プライベートブランド「ZOZO」及び「マルチサイズ」は含んでおりません。

当第1四半期連結累計期間に新規出店したショップ数は21ショップ(純増13ショップ)となりました。主な新規出店ショップはフランス発ファッションブランド Maison Margielaが展開する香水”REPLICA”を販売する「Maison Margiela Fragrances」、イギリスを代表するラグジュアリーブランド「BURBERRY」です。

(年間購入者数)

[表4] 年間購入者数の推移

	前連結会計年度				当連結会計年度			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
年間購入者数(注)2	9,730,162	9,890,784	10,103,351	10,418,331	10,619,934	—	—	—
(前年同期比)	1,067,602	1,085,629	963,555	932,662	889,772	—	—	—
(前四半期比)	244,493	160,622	212,567	314,980	201,603	—	—	—
アクティブ会員数(注)3	8,367,073	8,507,997	8,711,879	9,043,194	9,269,080	—	—	—
(前年同期比)	1,143,320	1,073,468	937,939	905,465	902,007	—	—	—
(前四半期比)	229,344	140,924	203,882	331,315	225,886	—	—	—
ゲスト購入者数	1,363,089	1,382,787	1,391,472	1,375,137	1,350,854	—	—	—
(前年同期比)	△75,718	12,161	25,616	27,197	△12,235	—	—	—
(前四半期比)	15,149	19,698	8,685	△16,335	△24,283	—	—	—

(注) 1 集計期間は会計期間末日以前の直近1年間としております。

2 年間購入者数は過去1年以内に1回以上購入したアクティブ会員数とゲスト購入者数の合計です。

3 アクティブ会員数は過去1年以内に1回以上購入した会員数になります。

4 「PayPayモール」の購入者は含んでおりません。

当第1四半期連結会計期間において、アクティブ会員数が前年同期比及び前四半期比でそれぞれ増加したことにより、年間購入者数も増加いたしました。アクティブ会員数の順調な増加は、2022年5月に実施したZOWEEK開催期間ならびに同年6月開始の「夏本セール」期間のTVCM放送ならびにWEB上の広告等により、集客を強化したことが要因です。

(年間購入金額及び年間購入点数)

[表5] 年間購入金額、年間購入点数の推移

	前連結会計年度				当連結会計年度			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
年間購入金額(全体) (注)1、2、3、4	42,363	42,343	42,549	42,403	42,559	—	—	—
(前年同期比)	△6.1%	△4.5%	△2.9%	△1.0%	0.5%	—	—	—
(前四半期比)	△1.1%	△0.0%	0.5%	△0.3%	0.4%	—	—	—
年間購入点数(全体) (注)1、2、3	11.4	11.5	11.6	11.6	11.6	—	—	—
(前年同期比)	△3.6%	△2.0%	△0.7%	0.1%	1.5%	—	—	—
(前四半期比)	△1.3%	1.0%	0.9%	△0.4%	0.0%	—	—	—
年間購入金額(既存会員) (注)1、2、3、4	49,257	49,037	49,064	49,254	49,407	—	—	—
(前年同期比)	△5.6%	△4.8%	△3.9%	△1.8%	0.3%	—	—	—
(前四半期比)	△1.8%	△0.4%	0.1%	0.4%	0.3%	—	—	—
年間購入点数(既存会員) (注)1、2、3	13.2	13.3	13.4	13.4	13.4	—	—	—
(前年同期比)	△2.8%	△2.2%	△1.7%	△0.7%	1.3%	—	—	—
(前四半期比)	△2.2%	0.3%	0.8%	0.4%	△0.3%	—	—	—

(注) 1 集計期間は会計期間末日以前の直近1年間としております。

2 アクティブ会員1人当たりの指標となっております。

3 「PayPayモール」の購入者は含んでおりません。

4 円単位となっております。

当第1四半期連結会計期間において、全体ならびに既存会員の年間購入金額が前年同期比で増加しておりますが、年間購入点数の増加が主な要因です。また、全体ならびに既存会員の年間購入金額が前四半期比で増加している主な要因は、当第1四半期連結会計期間における商品単価の上昇によるものになります。

(平均商品単価等)

[表6] 平均商品単価、平均出荷単価、出荷件数の推移

	前連結会計年度				当連結会計年度			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
平均商品単価 (注)1、2、3	3,490	3,264	4,167	3,752	3,552	—	—	—
(前年同期比)	1.4%	△3.5%	△3.1%	0.1%	1.8%	—	—	—
平均出荷単価 (注)1、2、3	7,501	7,346	8,592	7,974	7,699	—	—	—
(前年同期比)	1.2%	△0.3%	0.9%	△0.2%	2.6%	—	—	—
1注文あたり購入点数 (注)1、3	2.15	2.25	2.06	2.13	2.17	—	—	—
(前年同期比)	△0.1%	3.2%	4.1%	△0.3%	0.9%	—	—	—
出荷件数(注)1、3	12,085,053	11,816,663	13,049,762	12,800,550	13,123,988	—	—	—
(前年同期比)	5.3%	7.3%	9.1%	14.7%	8.6%	—	—	—

(注) 1 四半期会計期間の数値を使用しております。

2 円単位となっております。

3 「PayPayモール」は含んでおりません。

当第1四半期連結会計期間の平均商品単価につきましては、前年同期比で増加いたしました。セール比率が減少した事が主な要因です。平均出荷単価については商品単価の増加ならびに1注文当たりの購入点数が増加した影響を受けて前年同期比で増加しております。

i. 買取・製造販売

当第1四半期連結累計期間の商品取扱高は972百万円（前年同期比34.9%増）、商品取扱高に占める割合は0.8%（前年同期実績0.6%）となりました。売上高は938百万円（前年同期比31.1%増）となりました。2022年6月末現在、買取・製造販売のZOZOTOWN出店ショップは25ショップ（2022年3月末24ショップ）を運営しております。

ii. 受託販売

当第1四半期連結累計期間の商品取扱高は96,807百万円（前年同期比10.8%増）、商品取扱高に占める割合は75.6%（前年同期実績74.8%）となりました。売上高（受託販売手数料）は27,818百万円（前年同期比8.9%増）となりました。2022年6月末現在、受託販売のZOZOTOWN出店ショップは1,498ショップ（2022年3月末1,486ショップ）を運営しております。

iii. USED販売

当第1四半期連結累計期間の商品取扱高は3,263百万円（前年同期比26.4%増）、商品取扱高に占める割合は2.6%（前年同期実績2.2%）となりました。売上高は3,244百万円（前年同期比27.4%増）となりました。

② PayPayモール

ヤフー株が運営するオンラインショッピングモール「PayPayモール」へZOZOTOWNを出店しております。当第1四半期連結累計期間の商品取扱高は11,227百万円（前年同期比14.5%増）、商品取扱高に占める割合は8.7%（前年同期実績8.4%）となりました。売上高（受託販売手数料）は3,283百万円（前年同期比14.3%増）となりました。

③ BtoB事業

BtoB事業では、ブランドの自社ECサイトの構築及び運営・物流業務を受託しております。当第1四半期連結累計期間の商品取扱高は3,677百万円（前年同期比41.1%減）、商品取扱高に占める割合は2.9%（前年同期実績5.3%）となりました。売上高（受託販売手数料）は620百万円（前年同期比47.9%減）となりました。2022年6月末現在、受託サイト数は40サイト（2022年3月末42サイト）となっております。

④ 広告事業

広告事業は、ZOZOTOWN及びWEARのユーザーリーチ基盤を活用し、主に取引先ブランド各社に広告枠を提供し、広告収入を得る事業形態となります。当第1四半期連結累計期間の売上高は1,751百万円（前年同期比26.7%増）となりました。

WEARについては、引き続きユーザーの拡大及びコンテンツの拡充に注力しており、2022年6月末時点のアプリダウンロード数は1,600万件を超え、月間利用者数ともに堅調に推移しております。

⑤ その他

その他商品取扱高には、PayPayモールにおけるZOZOTOWN店を除いたファッションカテゴリーストアのうち、ZOZOオプション（当社提案をもとにPayPayモール内で実施する特集企画への参加等の営業支援の恩恵を受ける事が出来るサービス）の契約を結んだストアの流通総額、当社連結子会社の自社ECサイトにおける流通総額及びZOZOTOWNからオフライン店舗への送客をする仕組み「ZOZOMO」を経由した流通総額（前第4四半期連結会計期間より計上）を計上しております。当第1四半期連結累計期間のその他商品取扱高は11,979百万円、商品取扱高に占める割合は9.4%（前年同期実績8.7%）となりました。その他売上高には、ZOZOTOWN事業に付随した事業の売上（送料収入、決済手数料収入等）及び前述のその他商品取扱高に関連した売上等が計上されており、当第1四半期連結累計期間のその他売上高は4,933百万円（前年同期比7.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当第1四半期連結会計期間	増減率
総資産	127,276	119,810	△5.9%
負債	72,177	65,418	△9.4%
純資産	55,099	54,391	△1.3%

(総資産)

総資産については、前連結会計年度末に比べ7,466百万円減少（前連結会計年度末比5.9%減）し、119,810百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べ7,486百万円減少（同7.3%減）し、94,819百万円となりました。主な増減要因としては、現金及び預金の減少9,094百万円、商品及び製品の増加777百万円などによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ19百万円増加（同0.1%増）し、24,990百万円となりました。主な増減要因としては、有形固定資産の増加725百万円、のれんの減少65百万円、投資その他の資産の減少592百万円などによるものであります。

(負債)

負債については、前連結会計年度末に比べ6,759百万円減少（前連結会計年度末比9.4%減）し、65,418百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ7,097百万円減少（同10.7%減）し、59,074百万円となりました。主な減少要因としては、受託販売預り金の減少1,059百万円、未払法人税等の減少4,312百万円などによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ338百万円増加（同5.6%増）し、6,343百万円となりました。主な増加要因としては、退職給付に係る負債の増加130百万円などによるものであります。

(純資産)

純資産については、前連結会計年度末に比べ707百万円減少（前連結会計年度末比1.3%減）し、54,391百万円となりました。主な増減要因としては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加9,960百万円、剰余金の配当による減少10,792百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年4月27日に発表いたしました通期の連結業績予測数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	65,520	56,426
売掛金	30,609	30,813
商品及び製品	2,060	2,837
原材料及び貯蔵品	27	67
その他	4,086	4,674
流動資産合計	102,305	94,819
固定資産		
有形固定資産	11,284	12,009
無形固定資産		
のれん	1,796	1,730
その他	824	776
無形固定資産合計	2,621	2,507
投資その他の資産	11,065	10,473
固定資産合計	24,971	24,990
資産合計	127,276	119,810
負債の部		
流動負債		
買掛金	373	302
受託販売預り金	23,447	22,387
短期借入金	20,200	20,200
未払法人税等	8,259	3,947
賞与引当金	1,726	768
役員賞与引当金	59	18
事業整理損失引当金	231	245
その他	11,873	11,204
流動負債合計	66,172	59,074
固定負債		
退職給付に係る負債	3,631	3,761
資産除去債務	2,274	2,276
その他	98	305
固定負債合計	6,005	6,343
負債合計	72,177	65,418

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,359	1,359
資本剰余金	1,457	1,463
利益剰余金	97,067	96,250
自己株式	△44,784	△44,784
株主資本合計	55,100	54,290
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23	52
繰延ヘッジ損益	—	26
為替換算調整勘定	79	133
退職給付に係る調整累計額	△270	△261
その他の包括利益累計額合計	△168	△49
新株予約権	22	18
非支配株主持分	144	132
純資産合計	55,099	54,391
負債純資産合計	127,276	119,810

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	38,866	42,590
売上原価	1,942	2,249
売上総利益	36,924	40,341
販売費及び一般管理費	24,333	26,028
営業利益	12,591	14,312
営業外収益		
受取利息	1	2
受取賃借料	71	0
為替差益	1	—
業務支援料	3	3
リサイクル収入	8	7
補助金収入	6	11
ポイント失効益	11	34
その他	12	13
営業外収益合計	115	73
営業外費用		
支払利息	18	19
貸倒引当金繰入額	0	4
支払賃借料	68	0
支払手数料	10	3
為替差損	—	3
投資事業組合運用損	76	59
営業外費用合計	173	89
経常利益	12,534	14,296
特別損失		
固定資産除売却損	1	3
特別損失合計	1	3
税金等調整前四半期純利益	12,532	14,293
法人税、住民税及び事業税	3,011	3,774
法人税等調整額	790	569
法人税等合計	3,802	4,344
四半期純利益	8,730	9,949
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△11
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,731	9,960

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
四半期純利益	8,730	9,949
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	29
繰延ヘッジ損益	—	26
為替換算調整勘定	54	33
退職給付に係る調整額	7	9
その他の包括利益合計	59	99
四半期包括利益	8,790	10,048
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,791	10,059
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△11

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。